| | | | |
|---|---|---|---|
| 受付番号 | 202602 | | |
| 許可番号 | 大歯医倫　第111469号 | | |
| 研究課題名 | 歯科系大学看護学部における基礎看護学領域科目としての口腔健康管理実習の初期教育効果<br>～口腔健康管理実習の構築に向けて～ | | |
| 研究責任者 | 北尾 良太 | 申　請　者 | 北尾 良太 |
| 研究終了日 | 2026年12月31日 | | |
| 所　　属 | 看護学部 基礎看護学領域 | 所　　属 | 看護学部 基礎看護学領域 |
| 職　　名 | 准教授 | 職　　名 | 准教授 |

申請の概要

近年口腔機能の健康維持が全身疾患の予防につながる政策を、厚生労働省やWHO(世界保健機関)が打ち出していることから、大阪歯科大学看護学部が独自に「口腔健康管理実習」を創設し、基礎看護学領域の専門科目として2年次後期(2025年2月)に開講した。そこで本研究は、実習運営に関する関連資料や実習後の学生アンケート(成績確定済)結果を対象に、国内看護教育機関の実習科目でも類を見ない本実習がどのように展開されていったのかを報告し、量的・質的な分析による学生の学習効果を明らかにすることを目的とする。

本研究により、口腔健康管理に注目した看護学実習の運用と成果が明らかになれば、看護臨床や看護学基礎教育において重視されてこなかった(秋永他,2020;Haresaku et.al,2021)、口腔ケア看護(学)の重要性を発信できるとともに、以下の点を強調できることが期待される。

1)　歯科学と看護学をつなぐ、多職種連携教育の必要性
2)　現代のニーズにマッチした新たな視点での看護学実習の基盤づくりとその立ち上げ方